

# 牛久：学校周辺に見る自然

第31号 みずべ公園(ひたち野うしく小)

2016年10月17日発行

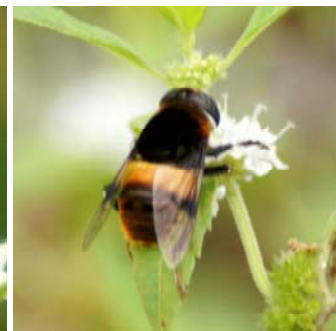
## ＜ 動物のすみか ～ ⑦ ハエ、ハナアブ、ガガンボのなかま ＞

こんにちは。9/27, 10/4にひたち野うしく小3年生と歩いたみずべ公園、今回はハエやハナアブ、ガガンボのなかまを紹介しましょう。



ブタナ(左)とコケオトギリ(右)の蜜をなめるホソヒラタアブ。

花の蜜や花粉を食べるのは、チョウやハチではありません。ハエのなかまにもいますし、花専門の「ハナアブ」とよばれるハエに近いグループもあります。ハナアブのなかまで一番よく目にするものの一つに、上のホソヒラタアブがいます。もようも特ちょうあるので、比較の見分けやすいでしょう。



左からミゾツバの蜜をなめるキゴシハナアブ、ハッカに来た同種、オオハナアブ、口に蜜なのか水滴なのかツマグロキンバエ。

この日は他に、池のそばのミゾツバやハッカの花で複眼に粉をまぶしたように見えるキゴシハナアブや、大型のオオハナアブ、複眼のもようがおもしろい小型のツマグロキンバエも見られました。



キイロホソガガンボ(左)の交尾と、ホリカワクシヒゲガガンボ(右)の交尾。

最後にガガンボのなかまの交尾。ガガンボは力を大きくしたような姿ですが、人をさしたりはしません。

キイロホソガガンボの成虫は花の蜜を、幼虫は植物の根を食べるそうです。また、ホリカワクシヒゲガガンボの幼虫は腐葉土を食べるようです。【理科支援員：宮内